

## 看護学校戴帽式

先日の台風並みの暴風雨の午後患者さんは来院を諦めたのか当院の待合室は誰もいなくなりました。患者さんが多すぎてもストレスですが誰もいないのはもっとストレスです。開業して38年も近く経つのに相変わらずの貧乏性？です。

5月23日木曜日に御殿場看護学校の戴帽式が挙行されました。戴帽式とは看護学生が看護師としての資質があると認められ晴れてナースキャップをかぶることを許される儀式です。40年前はどこの病院でも看護婦さんと言えば白いスカートにナースキャップが当たり前でしたが、今やどこを見渡してもそんな姿のナースはなつかしのテレビの世界以外には存在しません。変われば変わるものです。

そんな時代の変遷はともかくとして、儀式の中でナイチンゲールの言葉を力強く朗読する学生たちの若さ溢れるパワーのおかげで、明日もがんばろうと、気持ちを新たにした一日でした。

